

宮城県建設機械リース業協会

平成 27 年度 第 4 回理事会 議事録

日 時 : 平成 27 年 11 月 17 日 (水) 12:00~13:30
場 所 : 協会会議室
出席者 : 菅野会長、山本、池田、東海林(代理伊藤)各副会長、
菅原、浦田、横山、蛸名、伊藤(代理佐藤)、中野(代理大塚)、小野、
浦山 (代理北村) 各理事、星(代理飯川)、石井監事 計 14 名 (欠席 4 名)
事務局 小原

—配布資料—

1. H27 年懇話会・賀詞交歓会 T S、名簿他
2. H P 調査集計表他 (10/31 現在)
3. 収支報告書 (10/31 現在)
4. 盗難調書 (10/31 現在)

山本専務理事が、開会にあたり上記出席者を確認し、理事会の成立を確認した。
又、議長は定款第 13 条第 4 項の規定により菅野会長が任にあたることを報告した。

* これより、菅野会長が議長を務めた。

* 菅野会長挨拶(要旨)

- ・日本経済は、中国の景気停滞の影響で、製造機械等の基本経済が低迷の傾向にあるようだ。GDP もマイナス 0.2% と低い状況で推移しており、今後の影響が心配されている。さらには、来年度は東日本大震災の集中復興の期限の 5 年目を迎える。
- ・宮城県内は県議選、仙台市議選等の影響で、発注が遅れているように思える。
- ・先日の建産連のフォーラム出席時、公共工事の今後の見通しとして東北で 8.5% 減額となるとのことであった。
- ・協会としては、健全な業界をめざし活動を継続していきたい。
- ・本日の議題のスムーズな審議をお願いしたい。

以下省略

議事録署名人-----あすかレンタル(株)蛸名隆正理事、小野リース(株)小野洋平理事
の 2 名を指名した。

1. 本部教育研修委員会（10/6）報告…………菅野会長

- ・ 10/6 の本部委員会に参加した。今回の可発合格者は 92%の確立であった。
- ・ 仙台会場が狭い等のアンケート結果報告もあった。
- ・ 来年度から可発の受講会費を本部で一括徴収するようだ。（事務処理等は従来通）
- ・ 試験合格後の手続き不備のため、資格書が届かない等のトラブルも発生した。
- ・ 資格書の形態の変更等も検討中。来年度の更新対象者は減少。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

2. 平成 28 年新春懇話会・新年賀詞交歓会の開催について…………小原事務局長
（別紙資料の通り）

- ・ 平成 27 年開催の新春懇話会・賀詞交歓会と同規模で開催したい。
- ・ タイムスケジュール等も同様で考えている。
- ・ 案内等については、週明けに送付の予定。
- ・ 受付応援を、アクティオ及びカナモトにお願いしたい。
- ・ 今回から宮城支部名での案内となる。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

3. その他

- ・ 次回開催日は、平成 28 年 1 月 22 日（金）15：30 仙台サンプラザ
- ・ 理事懇親会を 12 月 18 日（金）に予定、詳細は後日連絡する。
- ・ HP アンケート結果の報告（別紙資料の通）
協会内での周知の不備が露見した。今後も継続して周知に取り組む。
掲載内容の変更等の連絡を密にしてゆく。
- ・ 収支報告・盗難報告（別紙資料の通）

<情報交換>

- ・ 製造部門の人手不足解消の為、ベトナム人労働者を研修の名目で採用、まじめな就労態度だ。
- ・ 中国人から東南アジア出身者に変更予定。
- ・ 人手不足解消の為、重機の洗車機の導入を検討している。
- ・ 地域により単価の下落が著しい、再度原点に戻るべく分科会の活性化に取り組む。
- ・ 廉価の傾向が見られるので、防止の取り組みが重要だ。
- ・ 復興大型工事はほぼ完了。三陸道もほぼ完了し、宮城県の工事量の下落が激しい。
- ・ 高所作業車は稼働率が高い状況だが、単価は安い状況が続いている。

- ・橋梁点検車を購入した。稼働中。
- ・他の業界での価格防止の取り組みを紹介。
- ・選別受注の必要性を感じる（断る勇気必要）
- ・他産業での単価の値戻しの取り組み状況等の報告会に参加して、大変勉強になった。

平成 27 年 11 月 17 日

議事録署名人

理 事

あすかレンタル(株)

蛸 名 隆 正 

理 事

小野リース(株)

小 野 洋 平 